

## 前歯部歯列不正のある患者に 補綴処置にて審美的改善を行なった症例

せき歯科クリニック 関 喜英 〒861-2101熊本市東区桜木3丁目22-19

### ■ 略歴

1999年 福岡県立九州歯科大学卒業  
2002年 添島歯科クリニック勤務  
2005年 せき歯科クリニック開院

### [抄録]

前歯部の歯列不正による審美的問題に対して、一般的には矯正治療による改善が理想的である。しかし、患者は様々な理由で矯正治療を拒否する場合も多い。その場合、治療のゴールに完璧な審美性を求めるのではなく、出来るだけ歯質に対して保存的なアプローチで調和のとれたスマイルを獲得することを目指すべきではないだろうか。

本症例の患者は31歳の女性で、上顎両側中切歯の舌側傾斜と上顎左側側切歯の唇側傾斜などの歯列不正と、上顎右側中切歯のレジン前装冠の色調と形態に不満を持っていた。前歯部は軽度のオープンバイトでもあったため、矯正治療の診断を受けた上での処置を勧めたが、患者は補綴治療による改善を希望した。そのため、完璧な審美性や機能性を治療目標とするのではなく、出来るだけ低侵襲の方法で、患者が望む審美性の改善が可能かどうかを模索しながら治療を進めていった。最終的には上顎右側中切歯に二ケイ酸リチウムのクラウン、上顎左側中切歯に二ケイ酸リチウムのベニア、上顎左側側切歯にはコンポジットレジン修復と歯冠形態の修正を行うことにより、十分に患者満足の得られる審美性を獲得することができた。

会員の皆様と症例を供覧し、ご指導、ご鞭撻を頂ければと思います。